
だだばき様

由一

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

だだばき様

【著者名】

Z7080Y

【あらすじ】

由一

古より存在する闇の神様の噂話。

うちの村には、こんな伝説が残っている。

「だだばき様」という霧もやの神様が、この村に住んでいて、時折口から霧を出して辺りを見えなくすると言つ。元々、霧の出やすい場所なのだが、昔は原因をその「だだばき様」によるものと信じている人も多かつたそうだ。

また、この「だだばき様」の吐く霧には様々な効果があると言つ。

白い霧は頭を爽快にし、
青い霧は心を重くさせ、
緑の霧は、もやもやした気分へ人を誘つそうだ。

だから、一日中調子が悪く、ぼんやりした日は「緑の霧にやられ
た」。鬱状態の時は「青い霧を吸いすぎた」などこの村では例え
て言つこともあった。

そんな「だだばき様」を最近見たと言うものが現れた。

朝起きて歩いていたら、大きく口を開けた四角形の物体が浮いて
いて、口から白い霧を出していたと言つ。それを吸つてから、体調
はすぐれ、頭のキレも良いとの事だった。

それを聞いた私は、次の日の朝早く起きて、「だだばき様」を探
した。

しかし、発見する事は出来なかつた。

ただ、深い霧だけは、村の中に立ちこめていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7080y/>

だだばき様

2011年11月21日10時53分発行